

愛媛大学大学院農学研究科 研究シーズ集（研究者情報）

氏名	板橋 衛	専攻	食料生産学
		コース	食料生産経営学
職名	教授	専門分野	アグリビジネス
メールアドレス	itabashi@agr.ehime-u.ac.jp	その他連絡先	089-946-9971
研究課題	1. 地域農業の展開過程と農協事業の相互関係性に関する研究 2. 協同組合としての農協のあり方に関する研究 3. 地域農業の構造変動に関する研究		
キーワード	地域農業、農業協同組合、農産物流通、農地資源管理、協同組合、作目転換、土地利用		

研究内容：

1. 地域農業の展開過程と農協事業の相互関係性に関する研究

①農協の営農指導・販売事業との関係性に注目した研究

農協の営農指導事業の体制と機能の再編過程に注目し、営農指導員の人員体制、指導員の役割、生産者組織との関連性に関して、その再編構造と課題を分析し、そのことが地域農業の展開に与えている影響を明らかにする。また、流通構造の変化への対応を行いつつ、系統農協そのものの組織・事業再編を直接的契機として改革が行われている農協販売事業の体制と機能および生産者組織との関連性に注目して現状を分析し、そのことが地域農業の展開に与えている影響を明らかにする。

②農協の信用事業・生産購買事業・農地管理事業に注目した研究

農協の生産資材供給事業に注目して、その事業構造と組合員サービスの実態を分析し、その事業展開と地域農業の展開の関係性を明らかにする。また、韓国とネパールの農協を対象として農協信用事業の機能と地域農業の展開との関係性を分析する。さらに、農協の農地管理事業の展開との関連で地域農業構造の変化と展開方向を分析する。

2. 協同組合としての農協のあり方を考察した研究

農協の歴史的展開と協同組合組織としての特性に注目して農協の組織・事業・経営の現状分析を行い、今後の農協のあるべき方向性を検討する。また、農協の各種事業のあり方を地域社会から乖離して事業展開することができない協同組合組織としての農協という視点から分析し、そのあるべき方向性を考察する。

3. 地域農業の構造変動に関する研究

担い手不足が深刻化する地域における新たな担い手として注目される集落営農に焦点をあて、その現状を明らかにし、地域農業変革の可能性を考察する。また、水田農業地帯の農業構造を主に担い手と土地利用に注目して分析を行い、現状における構造問題を明らかにする。さらに、地域農業構造を畜産経営、茶業経営、野菜経営、農地利用・管理に注目して分析を行い、現状におけるそれぞれの構造問題と今後の農業経営と地域資源管理の課題を明らかにする。

提供可能な資源・技術・その他

・地域農業振興計画策定のための基礎資料の作成

プロジェクト研究希望テーマ

・地域農業構造分析
 ・農業協同組合の組織・事業・経営構造の分析